

## 2022年度 学校関係者評価報告書

### 1. 目的

自己点検・自己評価の結果を学校関係者評価委員会に報告し、指導・助言を得て、教育活動及び学校運営に活用する

### 2. 参加者（敬称略）

#### ・委員会役員

委員長	前島 良弘	本校非常勤講師/看護系学校受験専門塾 啓学館代表
委員	鳥井元 純子	美原看護専門学校 学校長/大阪府看護学校協議会 会長
委員	水川 登志雄	守口市立さつき学園 校長
委員	山口 美裕紀	松下記念病院 看護部長
委員	角免 真由子	本校卒業生 (H9) /松下記念病院 師長

- ・ 学校長：村田 博昭
- ・ 副学校長：水方 智子
- ・ 教員：大谷 弘恵（教務主任）、山之内 由美（教務主任）、坂本 鈴子、木村 緑、北島 恭子、美甘 瞳、小林 美穂、新名 未希
- ・ 事務員：鍛冶舎 穰、石川 澄枝

### 3. 開催日時と内容

2023年3月15日(水)15:00～16:30

#### ① 開会挨拶（村田学校長）

#### ② 参加者自己紹介

#### ③ 事務局から委員会資料の説明

- ・ 47・48・49期生の概要、入試状況、特徴について
- ・ 教育目標、教育目的及びディプロマポリシー達成度など
- ・ 卒業時学生アンケート、自己評価結果報告
- ・ 受験生の推移

#### ④ 学校関係者評価懇談会

「学生をどのように育成していくか」を視点として意見交換を実施

##### i. 学生の社会性について

学生のコミュニケーション能力や社会性の向上への支援について、社会人基礎力の自己評価を実施し可視化できるような取組みを定期的実施している。コロナ禍のため多学年による演習や課外活動ができなかったことも影響していると考えられる。他者との関わりのなかで修得するものであるため意図的な環境調整や取組みが今後の課題である。

ii. 看護技術習熟度について

看護実践能力の根幹をなす看護技術の卒業時自己評価が例年に比して低値となっている。コロナ禍による「対象や状況」に応じた技術の経験数の減少によるものと分析。原理原則による技術習得に関しては例年通りと説明。

iii. 受験生の確保について

受験者数が前年度よりも微増。当校の魅力である学生を前面に押し出した広報活動が功を奏したと分析（オープンキャンパスの参加者の45%が受験）。ICT活用による広報活動の進展等、今後も広報活動の幅を広げ、受験者の獲得を継続する必要がある。

4. 学校関係者評価総括

- ◇ コロナウィルス感染が5類相当となることを期待し、学生の社会性の育成をめざし、他学年交流や地域での活動を拡大していくことが望まれる。
- ◇ 看護実践能力の基礎となる看護技術習得の状況を引き続き確認し、卒業時の到達レベルの向上を目指していく。
- ◇ 受験者確保に向けた現行の活動を継続しつつ、新規取り組みの導入により広報活動の幅を広げていく。